

実施日時	令和 6 年 8 月 22 日 (木)			13:30-15:45
出席者	20 名	(内訳)	委員 11 名 (欠席 6 名)	代理参加 名
			主管課・事務局 6 名	オブザーバー 3 名

<p>1. 開会 司会進行 地域振興公社 佐竹係長                  地域振興公社 佐竹係長 開会あいさつ                  パークマスター (以下PM) 野中委員 あいさつ                  オブザーバーの紹介：古河青年会議所 吉羽氏 あいさつ</p>
<p>2. 報告 進行 佐竹係長                  報告第3号                  公園朝市についての報告 佐竹係長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月、7月に公園朝市を開催した。共に盛況であった。</li> <li>・次回朝市は、9月8日になる予定、同時開催で古河青年会議所イベント「池の水を抜いて守ろう!!生態系再生大作戦!!」、かいぼりにより外来種の駆除を実施。</li> <li>・11月9日、10日では、ドッグフレンドリーフェスタと同時開催</li> <li>・ドッグフレンドリーフェスタ伊藤氏説明：公方公園での開催は三回目になる。マナー啓発、躰けと共に古河市の地域振興を目指す。</li> </ul> <p>ふるさと古河新茶まつりについての報告：佐竹係長より報告。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月19日にイベント開催。</li> <li>・お茶摘み体験、茶に関する出店、新聞社の取材があり、来園者も満足した。</li> </ul> <p>報告第4号                  都市計画課須藤係長より報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年に続きカキツバタ園の整備を実施、作業が始まっている。</li> <li>・園路の整備、トイレの洋式化、花桃の植栽を順次進めていく。</li> </ul>
<p>3. 討議 進行 野中委員                  討議第2号                  古河公方公園のローカルルールについて説明 佐竹係長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園内の乗り物の取り扱いについて (案)                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・通常の自転車乗り入れは原則禁止</li> <li>・自転車の練習、足漕ぎタイプ (ストライダー) の使用は、保護者同伴、人がいない場所で許可。駐車場では、芝生の場所、有効な車止め内で許可。</li> <li>・スケートボード、キックボードは、安全確保が出来る場所、中学生以下保護者同伴で許可。電動スケートボード、電動キックボードは禁止。</li> <li>・高齢者用電動カートは、乗り入れ許可、芝生部分は保護者同伴で許可。</li> </ul> </li> <li>・水面の利用について (案)                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥や釣り人への影響を踏まえ4月、8月、9月、10月が適正な利用時期。</li> </ul> </li> </ul>

- ・石垣の安全性を踏まえ、乗り降り場所として「まくらが浜」が適切。
- ・ドローンの飛行許可について（案）
  - ・技術習得の場として資格などの一定の条件を満たしたうえで許可する。
- ▶委員からの意見
  - ・園内の乗り物の取り扱いについて
    - ・自転車、スケートボードなど、市内に練習できる場所がない。子供の初めての練習での利用はいいと思う。オリンピックでもスケートボードの種目があり一般的な遊びの一種になっている。
    - ・来園者との共存は無理がある、専用の場所でやってもう方がよい。スケートボード用の設備を整えるべき。
    - ・現状の施設をどう使うかという話であって、新しく施設を作る話はない。できるだけ規制しない方向で共存してもらうことを考えるべき。
    - ・公園の広いスペース、その活用をしなければ公園の存在意義がない。条例を基本として管理者が許可できる条件を見極め、活用を進めることがいいのではないか。乗り物も、現状では、条例により基本的に禁止だが、条件付で許可を与える。その条件について話しが出来たらいいのではないか
    - ・公方公園は、あれダメこれダメ何もできない。代々木公園は、自由にやりたいことをやっている。いろいろな人が自由にできる公園の姿を目指して欲し
    - ・最初から禁止では、脳が思考停止、考える機会を奪ってしまう。注意書きばかりの公園は、魅力が半減してしまう。常識の範囲内、危険であることを学んでもらうことが重要。
    - ・必要なのは自己責任、人に迷惑かけない価値観、そういった考え方を学ぶ場としての公園になってくれたらいい。その考えを周知、浸透させることが、公園管理をする人にとってのチャレンジ
    - ・この公園は、アジール、解放区の意味を持つ、また考えながら使うことがコンセプトであり、それがいいと思っている人もいる。
    - ・小山市はスケートボードパークがある。子供たち同士のルールでやっている。子供が成長する過程において、公園がいろいろ挑戦していく場であっていい。公園でいい思い出を残すことが、将来公園を大事に思う心に繋がる。
    - ・若い人と年配者では、規範意識が違う、若い人に自己責任で判断と言っても期待するのが間違っている、自由にやらせるのはいかなものか。
    - ・市民からの要望では、ワンサイド（ある年齢層）からの一方的な苦情が多い。反面、若年層からの苦情は無い。
  - ・ドローンの飛行許可について
    - ・ドローンは、肖像権や音の問題などあり、許可はまだ時期尚早ではないか。
    - ・公園管理（草刈機等）で大きな音がしている、ドローンと変わらない。
    - ・現在、資格を持っていれば、ドローンは許可している。類似のものにラジコンがあるが、危険なものであれば禁止している。

#### ・水面の利用について

- ・提案いただいた水面利用案は、こまかく作り込み過ぎている。その前段階での水面での利活用、楽しみ方について話していきたい。
- ・中村先生が公園を作った時に船着き場を2か所作ったが、そこが禁止区域になっている。石垣になにか問題があるのか。（通常利用には問題無い）
- ・当面、水面利用は、イベントの時だけにするとか。事例として桃まつりの時に有料での揚げ船を運航した時があり、そんな方法も出来るのではないか。
- ・生き物の多様性を大事に影響の無い方向でやりたい。釣り人にも入ってもらい、共存できるような環境作りについて話し合いたい。
- ・揚げ船は、板倉町は船頭が居なくなって、今年とうとう無くなった。少し練習したくらいでは出来ない。水面利用をなぜ討議しようと思ったのか。
- ・新しい趣味や要望のために前もって話し合っておくことは重要、多数決ではなく、小さな意見でも取り上げて考えていくことが大切。
- ・委員の皆様へ、カヤックに一度乗ってみませんかと言う提案を行いたい。

#### 【討議結果】

- ・管理者が直面している問題は、出来るだけ早く、方針を出すことが円卓会議の役割である。また自己責任と周りに迷惑をかけない、条件と禁止事項を明確にするなどの考え方をもとに承認出来るものについては、承認する。
  - ・自転車：子供の練習での利用は承認する。
  - ・スケートボード、キックボード：子供の練習での利用は承認する。
  - ・電動スケートボード、電動キックボード：承認しない。
  - ・ドローン：有資格者の使用は承認する。
  - ・水面利用：検討継続する。

#### 4.その他

修繕要望と欲しいものリスト、引き続き募集している。

写真展をやりたいという要望があり、少しずつ進めている。

##### 公方公園マルシェ企画

- ・公方広場にキッチンカーを配置し、年間を通して賑わいを作る。順調に行けば10月初めから、場所がある限りは、土日祝日すべてで実施予定。
- ・賑わいを作りたいなら、七夕などの季節イベントも活用すべき、ゴミの問題、飲食スペースの問題も考えてやるべき。

事務室から、公園北側園路もよく見えるように模様替えなどの工夫をするべき。

- ・監視カメラを設置することが現実的、カメラを向ければ見えるようになる。
- ・公園内のことは、来園者が教えてくれることが多い。

##### かいぼりについて

- ・御所沼の水を抜いて、在来種、外来種の選別を実施、生態系を再生する。
- ・泥の厚みは、南側が厚い、北側は30cmくらい、メイン会場にする。費用は、テレビ東京さんが大部分出した。

- ・子供たちや、高校生ボランティアなど、200名の手を借りて実施。
- ・親1名につき、子供二人の場合、登録時に、1から3年生までは、保護者が必要。3から6年生までは、ボランティア追加で実施したい。カイボリ用に児童の胴長も用意するが数が足りないので、出来たら持参して欲しい。
- ・絶滅危惧種などの植物があり、入って欲しくない場所もある、事前に聞いてほしい。周囲の池の水抜きをしたがウナギが出てきたことがある。展示室の水槽には、在来の魚類、ウナギも入れるかもしれないが、1か月それを世話するのは大変。ヘドロを取った後の泥をバケツで2～3杯取っておいておくのと昔の水草の植生がよみがえるかもしれない試させてもらいたい。
- ・鯉もブルーギルと同じように処分する。ヘドロは取り除かない、乾燥させる。

都市計画課へ：天神橋のメンテナンス計画について今後どうするか

- ・令和7年度に予算要求する予定

都市計画課へ：公園50周年記念事業としてどろんこクラブセレモニー

- ・内容、予算について検討する

都市計画課へ：公園の使い方を注記した掲示板を設置できるか

- ・考えたい

民家園の藤棚、ドウダンツツジ、公方館跡の石碑周辺の手入れ。シルバーで出来ないか。

- ・石碑周辺は、文化財なので気になっている。秋ごろ新しい藤棚設置が予定されている。その時に強剪定等を実施されるはず。教育委員会との調整が必要

スケートボード、キックボードについては引っかかる。

- ・危険とみなした場合は、やめてもらう。
- ・とりあえずやってみる、ダメなら話し合う立ち止まって考える。そうやって前に進めていくことが重要

5. 閉会：司会進行 地域振興公社 佐竹係長

次回日程確認

次回、第92回古河公方公園づくり円卓会議は、11月28日(木)を予定。

提案は、9月28日までに事務局へ

閉会のあいさつ